

令和 7年度予算見積調書

課室名：みどり自然課
 担当名：野生生物担当
 内線：3154 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P29	長瀬射撃場管理運営事業費			一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	自然公園等施設整備費		
事業期間	平成18年度～	根拠法令	地方自治法 埼玉県長瀬射撃場条例			針路 分野施策	10 1003	豊かな自然と共生する社会の実現 生物多様性の保全	SDGsゴール SDGsターゲット	15 15-1, 15-3, 15-8
1 事業概要 長瀬射撃場は狩猟者及び捕獲従事者等の「射撃に関する技術の向上」及び「銃による事故の防止」並びに「射撃競技の発展」を目的として平成6年度に設置された。射撃場の設置目的を達成するため、指定管理者による適正な管理運営を行うとともに、環境保全対策として水質の継続監視を行う。 ア 管理運営委託 8,695千円 イ 環境保全対策事業 1,076千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 管理運営委託 指定管理者による射撃場の管理運営 8,695千円 イ 環境保全対策事業 場内を流れる沢水の定期的な水質検査 1,076千円 (2) 事業計画 ア 管理運営 令和5年度～令和9年度の5年間で指定管理期間として、指定管理者による管理運営を行う。 イ 環境保全対策 周辺環境への影響を監視するため、場内を流れる八重子沢・砂吹沢において、定期的な水質検査を継続して実施する。 (3) 事業効果 ア 適正な管理運営の実現 指定管理者による管理運営を引き続き行うことにより、サービスの向上・効率的な管理運営が図られる。 【活動指標(アウトプット)】 利用者数(7,318人)、初級者研修の実施(3回・44人) 教習射撃及び技能講習の実施(111人) 【成果指標(アウトカム)】 狩猟者登録数(2,000人以上)、ニホンジカ捕獲数(4,500頭以下)、死亡事故(年間0件)、競技射撃人口の増 イ 地域住民等の安全・安心確保 継続した水質検査の実施により、地域住民や利用者等の安心・安全を確保することができる。 【活動指標(アウトプット)】 基準値内の推移を確認 【成果指標(アウトカム)】 基準値内の推移の維持 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 公募により選定した指定管理者の人材・ノウハウを活用した施設運営及び利用者確保対策を実施する。						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.6人＝5,700千円										
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比	
		使用料・手数料	財産収入							
決定額	9,771	13	5,106					4,652	△7	
前年額	9,778	13	5,106					4,659		

事業内訳書

事業名	長瀬射撃場管理運営事業費		
単位事業名	管理運営委託	予算額	8,695千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
財産収入・ 土地建物貸付収入	5,106	0	メガソーラー発電事業用地貸付料
一般財源	3,589	180	
合計	8,695	180	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	8,695	180	長瀬射撃場の管理運営委託
合計	8,695	180	

単位事業名	環境保全対策事業	予算額	1,076千円
-------	----------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び手数料・ 行政財産使用料	13	0	行政財産使用料 自動販売機・受給用変電設備

単位事業名	環境保全対策事業	予算額	1,076千円
-------	----------	-----	---------

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	1,063	△187	
合計	1,076	△187	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	29	0	指定管理モニタリング旅費
委託料	1,047	△187	水質検査業務委託
合計	1,076	△187	